

# むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

## 「仕事を知ろう・地域を知ろう！」

11月20日(水) あらかわ地区まちづくり協議会  
& 荒川高校



自分の進路や地域のことを考える機会にしてもらおうと、荒川高校の1年生69人を対象に、地元の竹ぼうきづくり名人や船大工、写真家、理容師ら8人の講師を招いて特別講座を開催しました。

ヘアカット体験に参加した生徒は「理容師という仕事に興味があり参加した。想像以上に難しかった。」と話してくれました。



11月22日(金)～24日(日) 明治大学  
調査実習に感謝し山北の魅力を発信

市の協働のまちづくりのアドバイザーである明治大学の小田切教授のゼミナールを受講する学生たちが、学園祭で山北特産の「けんさ焼き」と「赤カブ漬け」を初めて販売し、PRしてくれました。

販売した学生は、「山北での聞き取り調査の成果を持ち帰り、その魅力を多くの関東の人にしつかり伝えられたし、興味を持ってもらうことができて大変良かった。」と話していました。

## 盛況のさんぼく祭で「灰の文化」を紹介

11月10日(日) 山北総合体育館



産業・文化・芸能の祭典「さんぼく祭」が開催され、大勢の人で賑わいました。

今年は、地域の暮らしと深く関わる「灰の文化」のコーナーを設置。この文化から生み出された製品が紹介され、注目を集めました。

特産のシナ布・赤カブ・アケボノ巻き・ちり紙は、この灰の文化が育んだ後世に残すべき貴重な逸品となります。

## 村上の「うんめもん」見つけよう、味わおう

11月17日(日) 市民ふれあいセンター



農商工連携の取り組みの一環として「うんめもん村上フェア」が開催されました。

ブースや軽トラ市での販売のほか、特産品を生かしたレシピなどを学ぶ講習会や新たな逸品作りのための意見交換会なども行われ、地域の味をPR。会場はたくさんの人で賑わいました。

## 日本海沿岸東北自動車道の日も早い開通・整備を

11月26日(火) 総合文化会館



25回目の日沿道の新潟・山形県境地区建設促進大会が開催されました。昨年5月に事業化が決定されて以来、初の大会となった今大会には市内外から約400人が参加。予算の確保などを盛り込んだ大会決議案を採択し、参加者全員が早期開通・早期整備に向けて氣勢をあげました。

## ふれあいで心も満腹、昼食会

11月28日(木) 神林農村環境改善センター



市社会福祉協議会による神林地区の一人暮らしや高齢者世帯の人を対象にしたふれあい昼食会が開催されました。食生活改善推進委員の皆さんが、地元の食材を使った手作り昼食を提供。アトラクションでは保育園児によるかわいい踊りも披露されました。参加者は、顔を合わせて話ができる喜びを感じたようでした。



12月8日(日) 保育園の有効活用を考える  
あらかわ地区まちづくり協議会

来年度のあらかわ保育園開園により、閉園となる3保育園(荒島・坂町・大津)の有効な活用策を地域のみんなで一緒に考えようとワークショップを開催しました。1回目この日は3保育園とその周辺を散策。協議会では今後ワークショップを重ね、活用策をまとめて市に提案していく考えです。

## 地域内で資源が循環『まちづくりコロケ』完成

12月15日(日) 塩野町地域まちづくり協議会



地域の産物を生かした取り組みを行おうと昨年春から試行を重ね、このほど、手づくりで素朴な味の「まちづくりコロケ」が完成しました。

今後は商品化につなげ、地域が潤うような仕組みをつくりたいと考えています。

## 「いじめ」ダメ！絶対

11月26日(火) 朝日地区小中連携協議会



朝日地区いじめ見逃しゼロスクール集会在開催され、地区の中学生全員と5年生以上の児童、教職員、保護者および地域住民が参加しました。

各学校があいさつ運動や地域との連携をはじめとした「いじめゼロ」への取り組みを発表した後、参加者約500人が35グループに分かれて意見交換を行いました。中学3年生の五十嵐彬恵さんは「いじめをしてはいけない、見逃してはいけないということを改めて感じた。」と話してくれました。



12月10日(火) 楽しく子育て、クリスマス会！  
神林農村環境改善センター

子育て支援センターの4地区合同のクリスマス会が開催され、約300人の親子が集まりました。職員によるハンドベルや3匹の子フタの劇の後、子ども達も大好きなアニメキャラクターがサンタクロース姿で登場し、一人ひとりにプレゼントを手渡しました。思わずサプライズに子ども達も大喜び。楽しい会となりました。